

『臥龍梅』 歳便り

平成二十四年文月



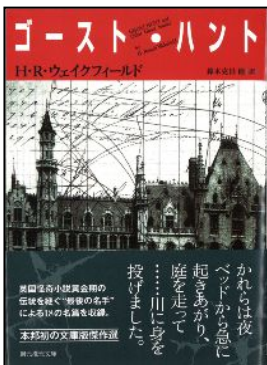
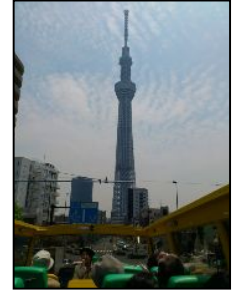
拝啓 盛夏の候、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

今月は、まず恒例の社内旅行について幹事の佐野君からご報告いたします。

旅行会幹事の佐野です。社員旅行の報告をさせていただきます。今年は6月8～9日と東京へ行ってまいりました。と、お話をすると、ほぼ100%「スカイ・ツリーへ行ったの？」と聞かれるのですが、半分は正解です。と言ってもスカイ・ツリーに上ったのではありません。

初日、東京駅に着くと‘O Sola mio (オー・ソラ・ミオ)’という屋根のない二階建てバスに乗って、下町方面を約1時間ドライブしたのです。間近でみるスカイ・ツリーはテレビや写真で見るとよりもっとゴツく感じました。その後は上野へ移動し、国立博物館を見学。忠犬ハチ公の剥製や、鯨の寄生虫、本物のミイラを見て脳みそに栄養を与えました。そして夜は臥龍梅を使っていた上野の『香家』さんでお食事。うーん、デリシャス!!! 雰囲気もよく最高のお店でした。

二日目はまず池袋のサンシャインシティへ行き水族館で癒しのひととき。水槽の中をのんびりと泳ぐ魚たちを見ていると頭からα波が出まくりです。昼食を挟んで午後は別名『いけない大人の秘密クラブ』の異名を持つ池袋演芸場へ。川柳川柳(かわやなぎせんりゅう)師匠のまったくブレのない至高の芸、『ガーコン』を楽しみ、夕方無事静岡に帰ってまいりました。なんだかよくわからない旅行でしたが、全員無事でそれがなによりでした。(佐野)



お酒の話とはまったく関係がないのですが、このたびH.R.ウェイクフィールドという英国作家の「ゴースト・ハント」という短編集が創元推理文庫から出版されました。その名のとおり18篇のゴースト・ストーリーを集めたもので、以前、別の出版社から出されたものを大幅に増補した内容になっております。小生、英米のこうした小説を読むのを長年の趣味としております。この本では短編を二つ翻訳し、解説を担当いたしました。これからの暑い季節にもってこいのお話ですので、懐に余裕のある方は書店で見かけたら是非ともお買い求めください。余裕のない方は、せめて立ち読みしてみてください。



今月は**純米大吟醸の涼風夏酒**、**加水の純米吟醸**、さらに**金賞受賞酒**をご案内いたします。すっきりした吟醸酒で夏を乗り切りましょう。

暑さのおりから、くれぐれもおからだをお大事に。

平成24年7月吉日

敬具

鈴木 克昌